

2019年3月期第3四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

■2019年3月期通期業績予想について

Q1：通期業績予想の変更点について教えてほしい。

A1：第3四半期までの実績、直近の為替・燃油見通しなどを踏まえ、業績予想を見直しました。営業収益は前回予想値（2018年10月31日公表）から据え置き14,880億円、営業利益は80億円増の1,750億円、経常利益は50億円増の1,610億円、当期純利益は税効果を反映し280億円増の1,380億としております。

■国際線について

Q2：前年対比で第3四半期（累計）の単価について教えてほしい。

A2：燃油サーチャージで+5%、国際航空券における国内区間の収入按分ルール変更により+1%、純単価で+2%、合計+8%となり、新旅客基幹システムによる効果などにより着実に上げることができました。

■旅客基幹システムについて

Q3：旅客基幹システムの効果について教えてほしい。

A3：第3四半期累計では、供給を増加させた中で、国際線の燃油サーチャージ除きのユニットレベニューが前年比約3%、国内線では約2%上昇しております。このユニットレベニュー上昇による増収効果は、第3四半期累計で最大160億円と見込んでおります。内訳は、国際線で100億円、国内線で60億円です。これは、第2四半期累計の増収効果である最大130億円から、さらに増収効果を30億円伸ばすことが出来た結果です。この増収には、新システムによる機能改善が大いに寄与していると分析しております。

以上